

# KODAK PIXPRO WPZ2

DIGITAL CAMERA

取扱説明書



## 適合宣言

責任団体： JK Imaging Ltd.

住所： JK Imaging Ltd., 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

カメラに関する情報の提供： [kodakpixpro.com](http://kodakpixpro.com)

## 本マニュアルについて

コダックデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、コダックデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。



知っていると役に立つ情報を示します。



カメラを操作している間取るべき注意事項を示します。

- カメラの操作を紹介するとき、理解しやすくしていただくために、次の記号が文章に表示されています。  
[アイテム内容]: 液晶モニターに表示されるアイテム内容は[]記号で表示されています。

## 著作権について

- 本製品で撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権の侵害によって生じたトラブルや損害などについては、一切その責任を負いません。

## 免責について

- 本製品の取扱説明書に従った取り扱いをしなかったことに起因して生じた損害については一切その責任を負いません。
- 万一、本製品及びカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害については一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 安全上の注意

## 防水、防塵、耐落下衝撃について

- JIS/IEC保護等級8級 (IPX8) 相当の防水機能及び。
- JIS/IEC保護等級6級 (IP6X) 相当の防塵機能を備えています。
- 耐落下衝撃高さ:2mまで。

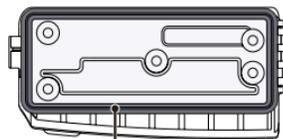
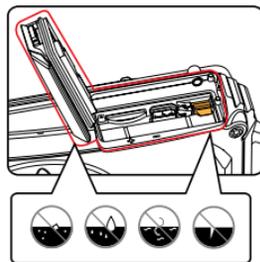
## 防水に関するご注意

- 水深15mを超える水中では使用しないでください。カメラは水深15mの1時間防水機能をサポートしません。
- 水温40°Cを超える温泉では使用しないでください。
- 水中では電池カバーの開閉は行わないでください。
- カメラが水に濡れた状態では電池カバーを開けないでください。濡れている時は、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で、水分を十分に拭き取ってください。その後、電池とメモリーカードを取り外して、24時間カメラを乾燥させてください。
- 電池カバーを開けた時にカバー内部に水滴が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- 水中(海水も含む)あるいは砂や泥などの異物が付着するような場所で使用したあとは、早めに真水(水道水)で十分洗ってください。洗う時には電池カバーを開けないでください。水洗い後は、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で十分に拭き取り、ボタンなど操作部分がスムーズに動くことを確認してください。

- 電池カバーの防水ゴムやその接触面にゴミや砂など異物が付着したときは、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で取り除いてください。
- 防水性能を確保ために、防水ゴムやその接触面に砂や異物が付いたままにしないでください。



防水ゴムの傷やひび割れは水漏れの原因となります。ただちに購入店又は弊社サービスステーションへ修理にだしてください。有償で新しい防水ゴムと交換します。



防水ゴム

## カメラに関するご注意

- カメラを投げたり、落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。感電したり、けがをするおそれがあります。
- カメラを長時間使用しないときは、電池を取り外し、ほこりや湿気の少ない清潔な乾燥した場所に保管してください。
- 高温(40°C以上)でのご使用、直射日光が当たる場所での保管はしないでください。
- 強い電磁波を発生させる装置の区域(電子レンジ、テレビ、磁石、変圧器など)で、カメラのご使用、保管はしないでください。
- 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないでください。(防水カメラを除く)火災、感電の原因となります。
- カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店あるいはサービスステーションにご相談ください。
- 寒い戸外(低温環境)から暖かい室内(高温環境)に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 電池とメモリーカードを取り出すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池とカードを取り外して、涼しい清潔な場所に保管してください。
- お客様の取り扱い不備により、静止画や動画を再生できない場合は、補償は致しません。ご了承ください。

## 電池に関するご注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。
- 電池の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたり、鋭利のもので電池を傷つけたりしない。破裂、液漏れの原因となります。
- 電池と金属製のネックレスやヘアピン、コインを一緒に持ち運んだり、保管しない。ショート、発熱、火傷やけがの原因となります。
- 電池をショート、分解しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 水につけたり、落としたり、濡れた手で掴んだり、端子部を濡らしたりしないでください。液漏れ、発熱、感電の原因となります。
- 電池を火の中に投下したり、加熱しないでください。液漏れ、破裂、火災の原因となります。
- 高温 (40°C以上) や直射日光が当たる場所で、電池の保管はしないでください。
- 充電中に電池が過熱したときは、電源を切り電池を取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておきます。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。
- 電池は幼児の手の届くところに放置、保管しないでください。舐めたり、口に入れたりすると非常に危険です。
- 低温下で使用した場合は、電池性能が大幅に低下します。
- プラスとマイナスの標示にしたがって、電池を正しく装着してください。電池を無理に電池室に押し込まないでください。

## 充電器についてのご注意

- 充電器を分解したり、修理や改造をしないでください。感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
- 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でケガをする原因となります。
- 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、やけどの原因となります。
- 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ってください。火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)などの電源に接続して使わないでください。発熱、故障、火災の原因となります。
- 濡れた手でさわらないでください。感電の原因になることがあります。
- 充電器を布などで覆った状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。電源プラグを抜かないでおこなうと、感電、ケガの原因となることがあります。

## メモリーカードに関するご注意

- 本マニュアルに記載されているメモリーカードは、micro SDカードあるいは、micro SDHCカードです。
- 信頼できるメーカーのメモリーカードをご購入ください。
- メモリーカードを新しく購入、他のカメラで使用、パソコンで初期化等した場合は、ご使用前に、お使いのカメラで、メモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- メモリーカードに強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードを分解や改造しないでください。
- 水につけたり、濡れた手で掴んだりして、メモリーカードを濡らさないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。
- メモリーカードに保存されている画像を直接編集しないでください。編集するときは、画像をパソコンへコピーしてから行ってください。
- 長期間使用しないときは、メモリーカード内の画像は、パソコンなどに保存してから、カードを取り外して、清潔な乾燥した涼しい場所に保管してください。
- パソコンでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または消去しないでください。カメラでメモリーカードが使用できなくなる原因となります。
- カメラを使用して撮影した静止画、動画は、メモリーカードに自動的に作成されたフォルダーに保存されます。他の機器を使用して撮影した静止画、動画をこのフォルダーに保存しないでください。再生モードで、ファイルを認識できない原因となります。
- メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて[カチツ]と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。

## その他に関するご注意

- ファームウェアの更新中は電源をオフにしないでください。変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり、撮影できなくなります。カメラの電源はフル充電した専用バッテリーご使用下さい。
- 使用が制限されている場所（飛行機、医療機関など）では、その規定を厳守してください。
- 液晶モニターは高精度の技術で製造されていますが、きわめて小さな点（黒、白、赤、青または緑）が常時表示される場合があります。この現象は液晶モニターの特性であり故障ではありません。また、記録された写真に影響を与えることはありません。
- 液晶モニター保護カバーやレンズカバーに水滴が付着した状態で長時間放置しないでください。染みの原因になります。水滴は乾いたきれいな布で十分に拭き取ってください。
- 液晶モニターが損傷した場合、液晶モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。
  1. 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
  2. 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
  3. 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

# 目次

警告 .....	1	日時を変更する場合 .....	21
安全上の注意 .....	3	モードを使用する .....	22
目次 .....	9	画面の切り替え表示 .....	22
準備をする .....	13	液晶モニター画面表示 .....	23
付属品一覧 .....	13	静止画撮影モード表示 .....	23
各部名称 .....	14	動画撮影モード表示 .....	24
電池とmicro SDカードの装着 .....	16	モードボタンの使用 .....	25
電池を充電する .....	18	自動モード .....	26
電源をオン/オフに切り換える .....	19	プログラム AE .....	28
カメラの構え方 .....	19	手動モード .....	28
言語と日時の設定 .....	20	動画モード .....	29
言語設定 .....	20	シーンモード (SCN) .....	30
日時設定 .....	20	パノラマモード .....	33
言語を変更する場合 .....	20	手ブレ補正 .....	34
		水中モード .....	34
		Wi-Fiモード <sup>※</sup> .....	35
		CALSモード <sup>※</sup> .....	40

## 基本操作 ..... 41

- ズーム機能を使用する ..... 41
- マクロモード ..... 42
- セルフタイマーモード ..... 43
- フラッシュモード ..... 44
- 機能設定 ..... 45
  - 露出補正 ..... 45
  - ISO感度 ..... 46
  - シャッター速度 ..... 46
- 動画撮影ショートカット ..... 47

## 再生モード ..... 48

- 再生モード表示 ..... 48
  - 画面の切り替え表示 ..... 48
- 静止画と動画を見る ..... 49
- サムネイルビュー ..... 50
- 画像を拡大する (静止画専用) ..... 51

- 連写の再生 ..... 52
- パノラマ動画再生 ..... 53
- スライドショー ..... 54
- 画像を消去する方法 ..... 55

## 操作メニュー ..... 56

- 静止画メニュー ..... 56
  - 測光方式 ..... 56
  - 画像サイズの設定 ..... 57
  - コンティニューアス AF ..... 57
  - 連写 ..... 58
  - AFモード ..... 59
  - ホワイトバランス ..... 59
  - 色彩 ..... 60
  - シーンを選択する ..... 61
- 設定メニュー ..... 63
  - 画質の設定 ..... 63
  - AFアシストビーム ..... 64

デジタルズーム .....	64	保護.....	75
日付写し込み .....	65	消去.....	76
レビュー .....	65	DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) .....	77
顔検出 .....	66	画像のトリミング .....	77
動画メニュー .....	67	カメラ設定メニュー .....	78
測光方式 .....	67	操作音 .....	79
画像サイズの設定 .....	68	省電力 .....	79
色彩.....	69	Language/言語 .....	80
動画設定メニュー .....	70	ワールドタイム .....	80
デジタルズーム .....	70	日付/時刻 .....	80
再生メニュー .....	71	LCD輝度 .....	80
ディスプレイモード .....	71	ファイル・ソフトウェア .....	81
HDR .....	72	フォーマット.....	81
赤目軽減 .....	72	カードへコピーする.....	82
画像回転 .....	73	ファイル番号 .....	82
画像サイズの変更(リサイズ) .....	73	リセット設定.....	83
色彩.....	74	FWバージョン .....	83
再生設定メニュー .....	75		

## カメラ接続..... 84

PCに接続する ..... 84

USBモードを設定する ..... 84

PCにファイルを転送する ..... 85

PictBridge互換プリンターに接続する ..... 86

USBモードを設定する ..... 86

カメラとプリンターを接続する ..... 87

PictBridgeメニューを使用する ..... 88

日付印刷 ..... 88

日付なし印刷 ..... 89

サムネイル画像を印刷する ..... 90

DPOF画像の印刷 ..... 91

USBケーブルを取り消す ..... 91

困ったときには ..... 99

メモ리카ードの互換性 ..... 101

## 付録 ..... 92

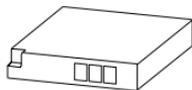
仕様 ..... 92

エラーメッセージ ..... 96

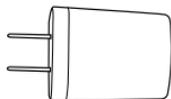
# 準備をする

## 付属品一覧

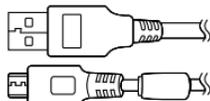
パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください(ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。



充電式リチウムイオン電池



AC アダプター



マイクロUSBケーブル



リストストラップ



かんたん操作ガイド

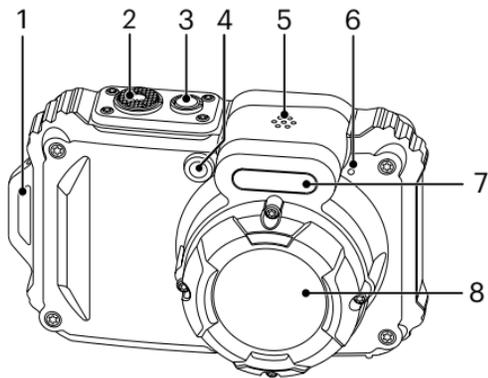


保証書

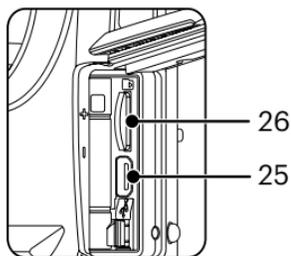
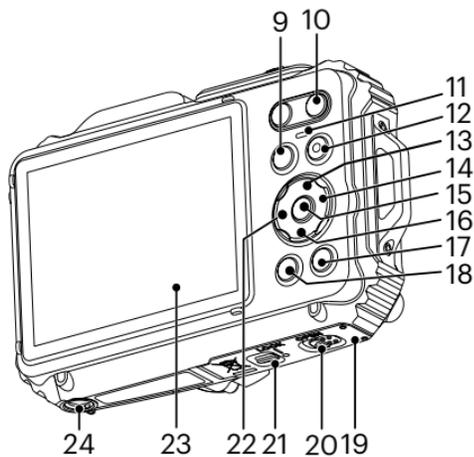


サービスカード

## 各部名称



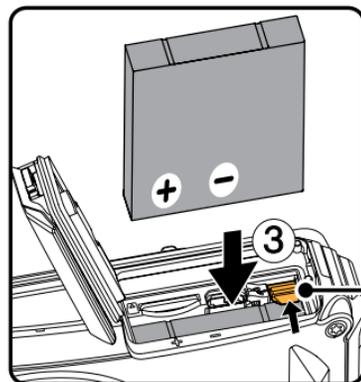
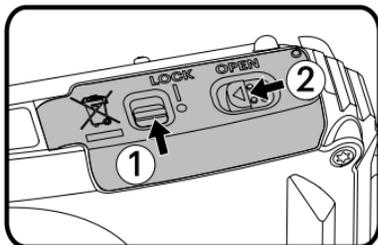
1. ストラップ取り付け部
2. シャッターボタン
3. 電源ボタン
4. AFアシストビーム/  
タイマーインジケータ
5. スピーカー
6. マイク
7. フラッシュ
8. レンズ



- 9. Mode ボタン
- 10. ズームボタン
- 11. 電源ランプ
- 12. 録画ボタン
- 13. DISP.ボタン/機能ボタン上
- 14. フラッシュモード/機能ボタン右
- 15. SET ボタン
- 16. 消去/セルフタイマー /機能ボタン下
- 17. 再生ボタン
- 18. Menu ボタン
- 19. バッテリーカバー
- 20. バッテリーカバーオープン
- 21. バッテリーカバーロック
- 22. マクロモード/機能ボタン左
- 23. 液晶モニター
- 24. 三脚ねじ穴
- 25. USB 端子
- 26. カードスロット

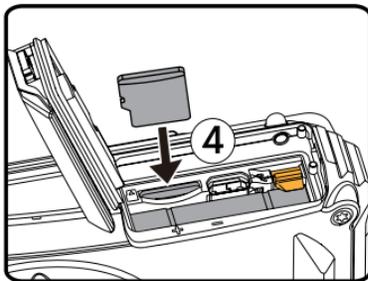
## 電池とmicro SDカードの装着

1. 矢印①の方向にバッテリーカバーロックをスライドさせる。矢印②の方向にバッテリーカバーオープンレバーをスライドしてバッテリーカバーを開ける。
2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用してストッパーを矢印方向に逃がし、電池を正しく装着します。

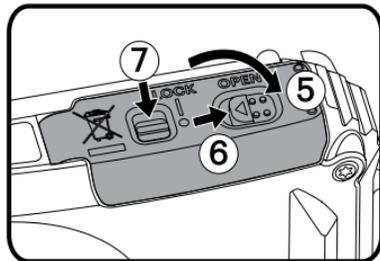


電池ロックツマミ

3. 矢印④の方向にメモリーカードをカードスロットに差し込む。(挿入方向は図を参照)。指先でメモリーカードをスロットの奥までカチッと音がするまで完全に押し込む。



4. 矢印⑤の方向にバッテリーカバーを閉じ、矢印⑥の方向にバッテリーカバーレバーをスライドする。バッテリードアが確実に閉じていることを確認後、矢印⑦の方向にバッテリーカバーロックをスライドして必ずバッテリードアをロックしてください。



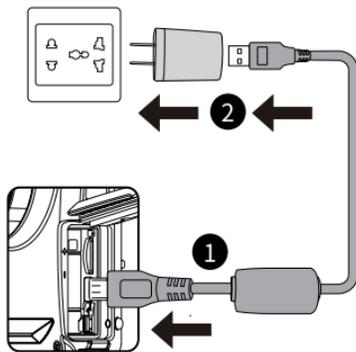
-  本製品ではmicro SD及びmicro SDHCが使用可能です。製品のパッケージには含まれないため、別途購入してください。4GBから32GBの容量のメモリーカードをご使用ください。micro SDXCはご使用できません。

- メモリーカードを取り外すには、バッテリーカバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押し込まれます。まっすぐ引き抜きます。

## 電池を充電する

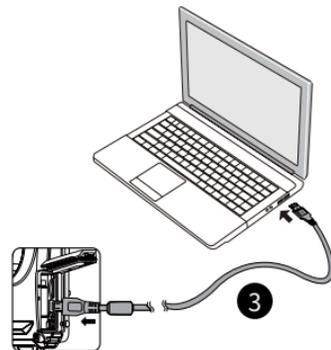
電池を装着し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。



-  充電はカメラの電源をオフにして行ってください。
-  長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。

-  電源ランプ:  
橙: 充電中  
充電が完了するとカメラは自動的にパワーオフして電源ランプは消灯します。電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は4時間以上行ってください。
- 3. カメラの電源オフ後に、USBケーブルでカメラをPCに接続して充電することもできます。

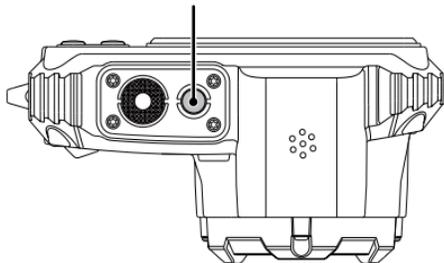


-  0°C~40°Cの室内で電池を充電してください。

## 電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

電源ボタン



再生ボタンを長押しすると、カメラの電源がオンして、再生画面を表示することができます。

## カメラの構え方

1. 両手でカメラをしっかりと持ちます。指がフラッシュやレンズを遮らないように注意して下さい。
2. レンズを被写体に向けて、液晶モニターで構図を決めます。
3. ズームボタンを操作して、被写体を拡大するときはT側を押します。広い範囲を撮影するときはW側を押します。
4. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

## 言語と日時の設定

### 言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
4. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

### 日時設定

1. 機能ボタン上/下を押して、[年月日]の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上/下を押して、値を合わせます。
3. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

### 言語を変更する場合

1. **HOME** ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して **MENU** を選択し、**SET** ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、**Language** を選択します。

3. **SET** ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、[Language/言語]を選択し、**SET** ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
4. 機能ボタン上/下を押して、Language/言語を選択します。
5. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。



## 日時を変更する場合

1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
3.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、[日付/時刻]を選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
4. 機能ボタン上/下、左/右を押して、値を変更します。
5.  ボタンを押して、設定を確定します。



# モードを使用する

## 画面の切り替え表示

DISP. ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

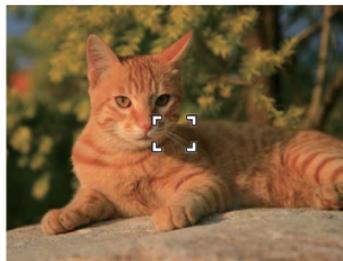
撮影モードのときに DISP. ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



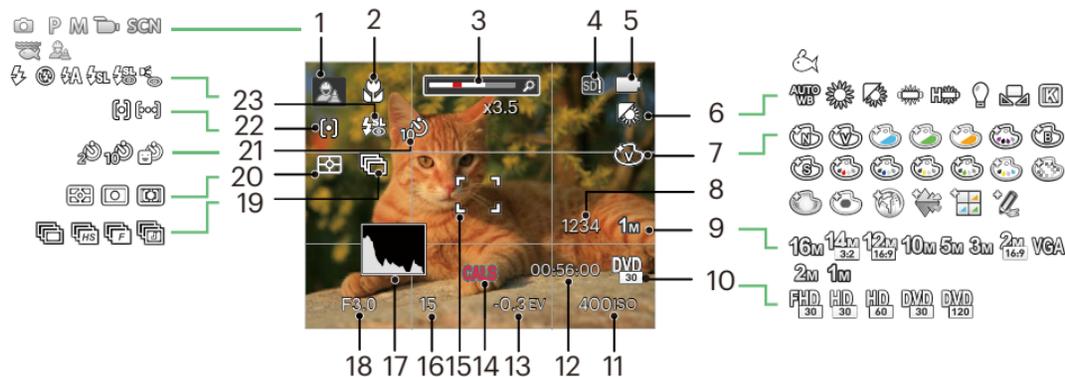
グリッドガイドとヒストグラムの表示



情報表示なし

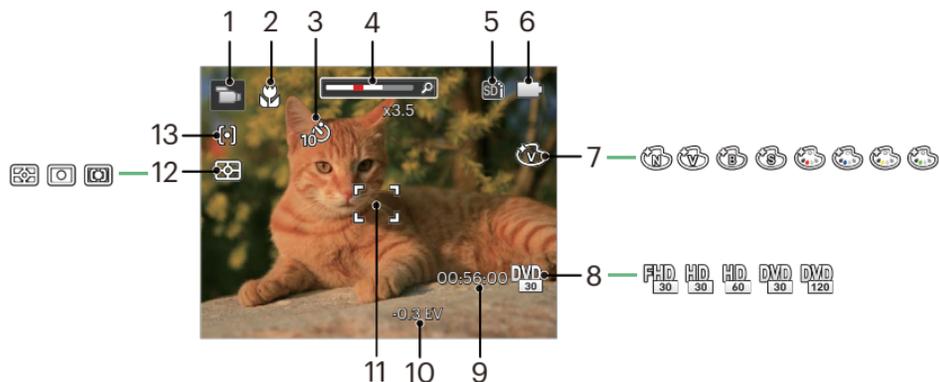
## 液晶モニター画面表示

### 静止画撮影モード表示



1	撮影モード	7	色彩	13	露出補正	19	連写
2	マクロモード	8	撮影可能枚数	14	CALSモード	20	測光方式
3	ズームインジケータ	9	静止画画像サイズ	15	AFフレーム	21	セルフタイマー
4	メモリーカード/ 内蔵メモリー表示	10	動画画像サイズ	16	シャッター速度	22	AFモード
5	電池残量表示	11	ISO感度	17	ヒストグラム	23	フラッシュモード
6	ホワイトバランス	12	動画撮影可能時間	18	絞り		

## 動画撮影モード表示



1	撮影モード	6	電池残量表示	11	AFフレーム
2	マクロモード	7	色彩	12	測光方式
3	セルフタイマー	8	動画画像サイズ	13	AFモード
4	ズームインジケータ	9	動画撮影可能時間		
5	メモリーカード/ 内蔵メモリー表示	10	露出補正		

## モードボタンの使用

カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについて、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。
プログラム AE		設定した露出補正值に合わせて、カメラは自動的にシャッター速度を設定します。露出補正值を変更した場合、シャッター速度と絞り値は露出補正值に合わせて変化します。
手動モード		このモードに切り換えると、手動でシャッター速度とISOを設定を選択して静止画を撮影できます。
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。
シーンモード		18種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。
水中モード		水中撮影時の青かぶり現象を低減させ、自然な色合いの写真の撮影することができます。
Wi-Fiモード		携帯用デバイスと接続して、画像を転送したり、リモート制御を行います。
CASLモード		CALSモードは、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」などが推奨する画像サイズでの撮影が可能です。



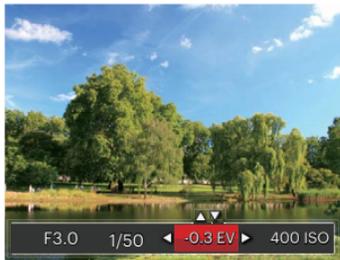
カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

モード名	説明
 風景	背景の露出が最適になるように撮影します。
 ポートレート	人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
 夜景ポートレート	人物と背景の明るさを最適になるように撮影します。
 逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、人物が暗くならないように撮影します。
 夜景	ISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
 マクロ	近い被写体に自動的にピントを合わせます。
 自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

## プログラム AE P

設定した露出補正值に合わせて、カメラは自動的にシャッター速度を設定します。露出補正值を変更した場合、シャッター速度と絞り値は露出補正值に合わせて変化します。

1. **MODE** ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、**P** を選択し、**SET** ボタンを押します。



2. **SET** ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
4. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
5. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

## 手動モード M

撮影目的に合わせて絞り値とシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

1. **MODE** ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、**M** を選択し、**SET** ボタンを押します。



2. **SET** ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
4. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
5. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

PM   モードで、調整できない項目は以下の表を参照してください。(○:調整できる ×:調整できない)。

項目 モード	絞り値	シャッター 速度	露出値	ISO感度
P	×	×		○
M	×	○	×	○
	×	×	○	×
	×	×	○	○

 調整することができない場合でも、撮影画面上に各値が表示されます。

## 動画モード

動画を録画するにはこのモードに切り替えます。

1.  ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. シャッターボタンを押して録画を開始します。



3. 動画撮影を終了するには、動画ボタンあるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

 録画中にズームボタンを押すと、ズーミング撮影が可能です。

## シーンモード (SCN)

シーンモードでは、状況に合わせて合計18種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. **MODE** ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、**SET** ボタンを押して、画面にはシーンモードメニューが表示されます。



2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。
3. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。
4. シーンモードを変更するには、**DISP** ボタンを押して **SET** ボタンを押します。機能ボタン上/下、左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択し直します。

シーン	説明
 ポートレート	ポートレートを主体とする画像を撮影します。
 風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
 スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
 ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
 夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
 花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します (三脚の使用を推奨します)。
 夜景	夜景の撮影に適しています(三脚の使用を推奨します)。
 雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現できます。
 子供	子供の目を保護するため、フラッシュの発光を禁止にします。
 パノラマモード	360度のパノラマ撮影ができます。

シーン	説明
 ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影することができます。
 手ブレ補正	手ぶれによるボケを軽減します。
 流し撮り	流し撮りの撮影に適しています。
 夜景ポートレート	夜景を背景にした人物撮影に適しています。
 パーティー	室内のパーティー会場で、照明の効果を生かした撮影に適しています。
 室内	室内撮影に適しています。背景や周辺を鮮明にします。
 植物	植物を撮影する際、緑色を鮮やかに表現することができます。
 博物館	フラッシュが禁止されている場所でも明るく写すことができます。

## パノラマモード

パノラマモードでは、カメラを移動(最大360°)させて、超広角なパノラマ写真を合成します。

1. パノラマモード()を選択し、**(SET)** ボタンを押して設定を確定します。
2. 機能ボタン上/下左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押し、フォーカス後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面下側に、赤地に案内  $\Rightarrow$  が表示されます。



4. 設定した方向に沿ってカメラを移動させます。順調に撮影が進むと、案内  $\Rightarrow$  が少しずつ移動し、枠の端に到達したとき、撮影が完了します。
5. パノラマ画像は自動的に合成され、一瞬間レビューで見ることができます。



撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。又、フォーカス調整もできません。



撮影中に **(SET)** ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。機能ボタン下()を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。



撮影中、画面に[画面が一致しませんもう一度やり直してください]と表示されたときは、構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きかったためです。撮影された画像は保存されます。



撮影したパノラマ画像を動画再生で見ることができます。詳細については、53ページの[パノラマ動画再生]を参照してください。

## 手ブレ補正

手ブレ補正は、低輝度またはシャッタースピードが低速のときに発生する手ブレの影響を軽減します。

 手ブレ補正は暗い場所、またはスローシャッタースピードで撮影するときにお勧めします。

 風の強い場所や不安定な場所(動いている乗り物の中など)で撮影すると、ブレが生じることがあります。

## 水中モード

スキューバダイビングなど、水中で写真撮影をするときに使用します。水中撮影時の青かぶり現象を低減させ、自然な色合いの写真を撮影することが出来ます。

 ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、 ボタンを押します。



## Wi-Fiモード

携帯用デバイスと接続して、画像を転送したり、リモート制御を行います。

注意が必要な事例：

- ご利用いただけるスマートデバイスはOSバージョンがiOS 11以降のものであるかAndroid 6.0以降のものである必要があります。もし適合していない場合は、先にバージョンアップをしてください。
- 強力な磁気、電波、静電気を出す場所(例えば電子レンジ付近)で、使用しないでください。信号の送受信に影響が発生します。
- スマートデバイスとの距離を10メートル(約32フィート)以内に保持し、信号の遮蔽物等がないことを確認してください。
- 飛行機内で、ワイヤレスLAN機能を使用しないでください。
- 一台のカメラは、一台のスマートデバイスと接続することができます。

**アプリのダウンロードおよびインストール：**

 PIXPRO Remote Viewerインストールパックを下記よりダウンロードし、お持ちのスマートデバイスにインストールしてください。

- Androidデバイス:Google playより[PIXPRO Remote Viewer]をダウンロードし、説明に従いインストールしてください。
- iOSデバイス:Apple Storeより[PIXPRO Remote Viewer]をダウンロードし、説明に従いインストールしてください。

MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、Wi-Fiを選択し、SET ボタンを押して、Wi-Fi選択画面が表示されます。



• 次へ: SSID画面に入ります。

MODE ボタンを押すと、Wi-Fi接続が切断されません。

## カメラ設定

1. 機能ボタン上/下を押して、項目を選択します。



2. [パスワードの変更]を選択した場合は、SET ボタンを押して更新します。機能ボタン左/右を押して、「はい」を選択し、SET ボタンを押して更新します。更新後、「取消」を選択して、SET ボタンを押します。

• パスワードの変更: WPA2-PSKパスワード更新画面に入ります。

はい: カメラは自動的に任意パスワードへ変更します。

いいえ: 前のページへ戻ります。

• 取消: 前のページへ戻ります。

## スマートデバイス設定

1. スマートデバイスのWi-Fi機能を開き、周囲のワイヤレスネットワークを検索します。
2. カメラのSSID名称を選択して、カメラが表示しているWPA2-PSK隣の八桁数字のパスワードを入力します。
3. APPアプリケーションのアイコン  をクリックして、APPを開きます。

## 設定完了

カメラとスマートデバイスの接続が完了した後、スマートデバイスで機能操作を行うことができます。

## Wi-Fi 接続状態の表示

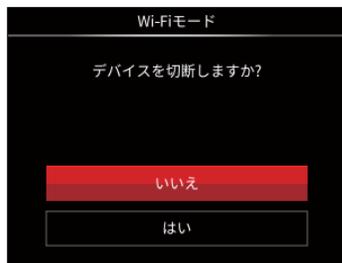
Wi-Fi 接続が完了して、APPの起動を待っています。



Wi-Fi 接続が完了して、APPが起動しています。



接続の状態を選択します。



- いいえ: Wi-Fiの接続を保持して、前のページへ戻ります。
- はい: 接続を中断して、Wi-Fiモードの選択画面へ戻ります。

スマートデバイスのWi-Fi信号が切断されています。



- 戻る: SSID画面に戻ります。

## 設定

カメラのデバイス名をキー入力で変更することができます。

1. 他のモードでは、 ボタンを押し、機能ボタン上/下を押し、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押しして を選択し、 ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押しして、調整する項目を選択して、 ボタンを押します。カメラのデバイス名の画面が表示されます。



4. ボタンを押して、設定を確定します。

## カメラの装置名

カメラの装置名は出荷時、[PIXPRO WPZ2\_XXXX]に設定されます。キー入力でデバイス名を変更することができます。



画面にあるアイコンの説明:

アイコン	説明
	最後の文字を消去する
	アルファベット文字の大文字/小文字を変換します
	カーソルを移動する
	記号の表示を切り換える
	スペースを入力する

## MAC Address (アドレス)

カメラのワイヤレスネットワーク接続時のMACアドレスを見ることができます。

## APP操作方法

《PIXPRO Remote Viewer 取扱説明書》のダウンロードURL:



[https://kodakpixpro.com/docs/manuals/pixpro\\_remote\\_smart\\_lens\\_jp.pdf](https://kodakpixpro.com/docs/manuals/pixpro_remote_smart_lens_jp.pdf)

## CALSモード

CALSモードは、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」などが推奨する画像サイズでの撮影が可能です。言語設定を「日本語」に設定された状態で選択することができます。

MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、SET ボタンを押します。



 本製品は優れた耐水性、防塵性、耐衝撃性を備えているため、建設現場などの過酷な環境下でも写真撮影が可能です。

 CALSモードでは以下の3種類から画像サイズを選択できます。

1M (1280x960) 初期値

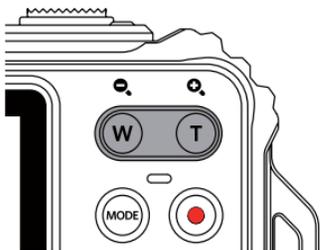
2M (1600x1200)

3M (2024x1536)

# 基本操作

## ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ背面部のズームボタンを押して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。



ズームインジケータ（64頁のデジタルズームを参照してください）。

デジタルズームがオンに設定されている時は、光学ズームが最大値の4倍に達すると停止します。一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に押すと自動的にデジタルズームに切り替わります。

## マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1.  ボタンを押して、マクロモード機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のメニューから選択することができます。

-  マクロ: オフ  
マクロ機能をオフにします。
  -  マクロ: オン  
マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

## セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1.  ボタンを押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

-  セルフタイマー: オフ  
セルフタイマー機能をオフにします。
-  セルフタイマー: 2秒  
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

-  セルフタイマー: 10秒  
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

-  セルフタイマー: 笑顔  
笑顔を検出するとシャッターが切れます。

3.  ボタンを押して、設定を確定します。

- ① セルフタイマー(2秒、10秒)を途中で止めるには、シャッターボタンあるいは、機能ボタン下()を押します。セルフタイマーを解除するには、再度機能ボタン下()を押して、設定をオフにします。

- ① セルフタイマー(笑顔)を途中で止めて、解除するには、シャッターボタンあるいは、SETボタンを押します。

## フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1.  ボタンを押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、6種類のメニューから選択することができます。

-  発光禁止  
あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
-  自動発光  
カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。

-  強制発光  
すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
  -  スローシンクロ  
夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
  -  スローシンクロ+赤目軽減  
スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
  -  赤目軽減  
予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

## 機能設定

各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

1. **SET** ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。



3. 機能ボタン上/下を押して、値を設定します。
4. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

## 露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト(明暗の差)が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します(露出補正の設定はカメラが **P** **MP** **MR** **MR** モードに入っているときのみ使用できます)。



露出値の調整可能範囲は、EV-3.0からEV+3.0です。

 動画モードでも露出補正を調整することができます。

## ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります (ISO感度の設定はカメラが、**P/M** モードに入っているときのみ使用できます)。



ISO感度の調整可能範囲は、自動、100、200、400、800、1600、3200です。

## シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます (シャッター速度の設定はカメラが、**M** モードに入っているときのみ使用できます)。



シャッター速度の調整可能範囲は、最長30秒です。

## 動画撮影ショートカット

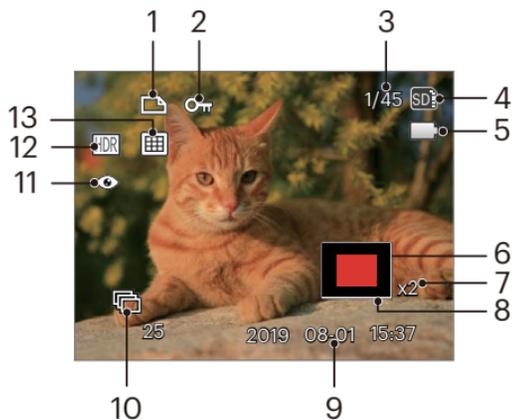
録画ボタン  を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。



動画撮影を終了するには、録画ボタン  あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

# 再生モード

## 再生モード表示



- 1 DPOF 印刷
- 2 保護
- 3 画像番号/総画像数
- 4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
- 5 電池残量表示
- 6 画面位置表示 (案内マーク)
- 7 画像の倍率

- 8 縮小液晶モニター
- 9 撮影日時
- 10 連写の再生
- 11 赤目軽減
- 12 HDR
- 13 日付フォルダー

### 画面の切り替え表示

**DISP.** ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード

再生モードのときに **DISP.** ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示

詳細の情報表示

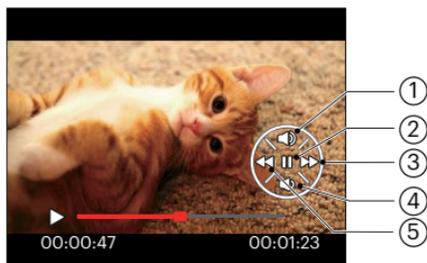
情報表示なし

## 静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態では、**▶** ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、**SET** ボタンを押して動画再生モードに入ります。

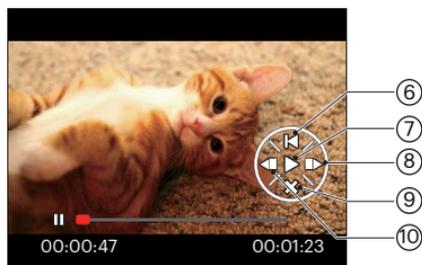
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と **SET** ボタンを押して、操作機能の変更ができます。



下記に操作機能を表示してあります。

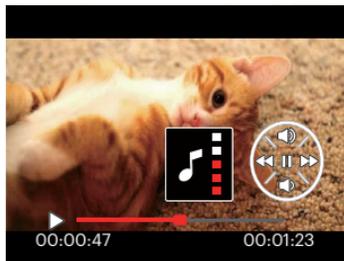
- |          |          |
|----------|----------|
| 1 音量を上げる | 4 音量を下げる |
| 2 一時停止   | 5 巻き戻し   |
| 3 早送り    |          |

下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。



- |            |         |
|------------|---------|
| 6 最初のコマに戻る | 9 再生取消  |
| 7 再生の再開    | 10 巻き戻し |
| 8 早送り      |         |

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、が表示されます。

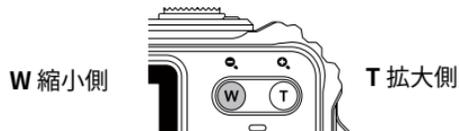


下記に操作機能を表示してあります。

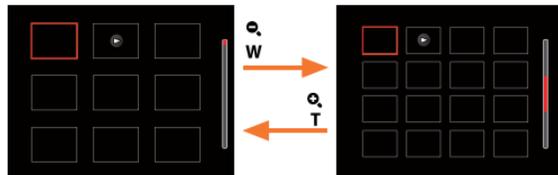
1. 音量を上げる
2. 音量を下げる

## サムネイルビュー

再生モードでズームボタンを **W** 側に押すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。



1. ズームボタンをW側に押すと、3x3 (9コマ) のサムネイル画像が表示されます。さらに押すと、4x4 (16コマ) のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。 ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。



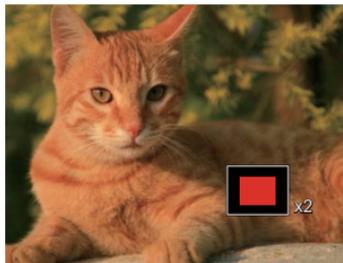
液晶モニターに  のアイコンが表示されるときは動画画像です。

サムネイル画像を選択した後、 ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

## 画像を拡大する(静止画専用)

ズームボタンは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1.  ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームボタン **T** 側を押して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率(2.0X)が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示(案内マーク、赤色)が表示されます。機能ボタン上/下、左/右を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、 ボタンを押します。またズームボタンW側を繰り返し押ししても画像を縮小できます。



 動画は拡大できません。

## 連写の再生

超高速連写(VGA)と高速連写(4M)で撮影した画像を再生して見ることができます。

1. 撮影モードで  ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、超高速あるいは高速連写画像を選択します。
3. プレーを開始するには、 ボタンを押してください。



## パノラマ動画再生

パノラマ動画の再生は、液晶モニターに撮影した方向で、フルサイズの画像が表示されます。再生終了後は、静止画のパノラマ画像に戻ります。

1. 撮影モードで  ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、パノラマ動画の画像を選択します。
3.  ボタンを押して、撮影した方向に沿って再生が開始します。



タイムラプス動画



再生中



一時停止

	一時停止
	再生を取消す

 パノラマ動画再生中に、機能ボタン下 ( ) を押すと、再生を中止して、再生画面に戻ります。

## スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで **📷** ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには **SET** ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、[取消]あるいは3種類のメニューから選択することができます。



- 効果1: 間隔1秒
  - 効果2: 間隔1秒
  - 効果3: 間隔1秒
4. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

## 画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下(  )を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去:

1.  ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下(  )を押すと消去画面が表示されます。



4. 機能ボタン上/下を押して、[1枚消去] または [戻る] を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。



消去された静止画/動画は回復することができません。



すべての画像を一括消去する方法は76ページをご覧ください。

# 操作メニュー

## 静止画メニュー

撮影モードアイコン:  P M SCN 

撮影モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。



変更するセットアップメニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、素早く切り換えることができます。

## 測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。



3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE  
画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
- スポット  
画面中央のAFフレーム内を測光します。
- 中央部重点  
画面中央部の範囲を重点に測光します。

## 画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

- 16M： 超高品質印刷
- 14M： 高品質印刷
- 12M： フルサイズ印刷
- 10M： A3ノビサイズ印刷
- 5M： A4印刷
- 3M： A4以下印刷
- 2M： A5印刷
- 0.3M： 電子メール

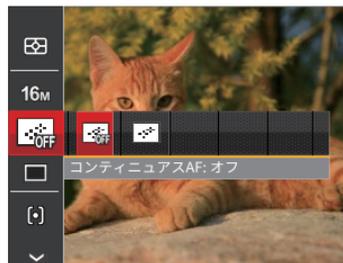


記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

 CALSモード(👤)を選択すると、静止画のアスペクト比は4:3に固定され、画質は1M / 2M / 3Mのみから選択できます。初期値は1Mです。

## コンティニュアス AF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。



2種類のメニューから選択することができます。

- コンティニュアスAF: オフ
- コンティニュアスAF: オン

## 連写

この設定により、連写(連続撮影)を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。



8種類のメニューから選択することができます。

-  一枚撮り  
1コマのみ撮影します。
-  連写  
シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。
-  超高速連写 (VGA)  
VGAサイズで、連続して撮影できます。

-  高速連写 (4M)  
4Mサイズで、連続して撮影できます。
-  インターバル撮影 30秒
-  インターバル撮影 1分
-  インターバル撮影 5分
-  インターバル撮影 10分

 連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

 シャッターボタンを全押ししている間、連写を行ないます。

## AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。



2種類のメニューから選択することができます。

-  シングル AF  
AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
-  マルチ AF  
カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

## ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します(WB設定はカメラが P M   モードに入っているときのみ使用できます)。



撮影モード P M  では、9種類のメニューから選択することができます。

-  自動
-  晴天
-  曇天
-  蛍光灯
-  蛍光灯 CWF
-  白熱電球

-  手動  
 調整する  
 シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。

-  色温度 (1900K~10000K)  
 調整する  
 機能ボタン上を押し、機能ボタン上/下を押し、色温度を調整することができます。

-  水中

撮影モード  では、4種類のメニューから選択することができます。

-  自動
-  手動  
 調整する  
 シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。

-  色温度 (1900K~10000K)  
 調整する  
 機能ボタン上を押し、機能ボタン上/下を押し、色温度を調整することができます。

-  水中

## 色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。



20種類のメニューから選択することができます。

-  普通
-  鮮明
-  日本スタイル
-  イタリアスタイル
-  フランススタイル
-  パンク
-  白黒

-  セピア色
-  モノクロ-赤
-  モノクロ-青
-  モノクロ-黄
-  モノクロ-緑
-  ネガ
-  ドリーム
-  ぼかし
-  スタジオ
-  魚眼
-  反射
-  4グリッド - スタイリッシュ(2M)
-  スケッチ

## シーンを選択する

SCNモードのシーンモードを選択します。



詳しい説明については、30ページを参照してください。

•撮影モードでの各メニュー（O:選択できる X:選択できない）

メニュー	撮影モード					
		P	M			
	O	O	O	O	O	O
16M	O	O	O	X	O	O*1
FHD	X	X	X	O	X	X
	X	O	O	X	O	O
	X	O	O	X	O	O
	O	O	O	X	X	O
AUTO WB	X	O	O	X	O	O
	X	O	O	O	X	X

\*1 CALSモード時の画像サイズ: 1M(1280x960)、2M(1600x1200)、3M(2024x1536)

## 設定メニュー

撮影モードアイコン: P M SCN

1. 撮影モードで ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。



2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. ボタンあるいは機能ボタン右を押して、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. ボタンを押して、設定を確定します。

## 画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。



3種類のメニューから選択することができます。

- 精細 (16M 平均サイズ: 4.0MB)
- 標準 (16M 平均サイズ: 2.5MB)
- 普通 (16M 平均サイズ: 2.0MB)

## AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。



- オフ
- オン

## デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。



- オフ
- オン



AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

## 日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。



- オフ
- 日付
- 日付/時刻

## レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができません。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。



4種類のメニューから選択することができます。

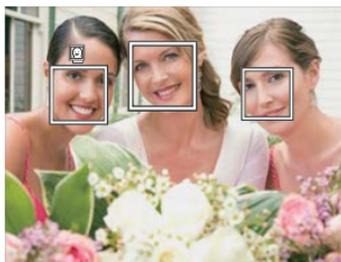
- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

## 顔検出

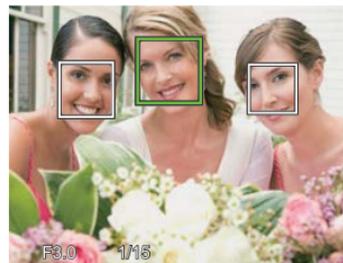
撮影モードで、顔検出の設定をオンにすると、自動で顔に焦点が合います。



1. カメラを構えて、被写体に向け顔を検出すると、液晶モニターの顔部に白枠のフレームが表示されます。



2. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点を合わせます。焦点が合うと、白枠のフレームが緑枠のフレームに変わります。



3. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

 瞬き検出機能が有効になっています。再生時に瞬きを検出したときは、 が表示されます。

## 動画メニュー

動画モードアイコン: 

1.  モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。



2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

## 測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。



3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE  
画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
- スポット  
画面中央のAFフレーム内を測光します。
- ss中央部重点  
画面中央部の範囲を重点に測光します。

## 画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。



- **FHD** サイズ: 1080p 30fps
- **HD** サイズ: 720p 60fps
- **HD** サイズ: 720p 30fps
- **DVD** サイズ: 640x480 30fps
- **DVD** サイズ: 高速動画モード

高画質の画像記録に必要なメモリーカードのクラス:

No.	画像サイズ	駒/秒	推奨	録画時間 (4GB)
1	1920 x 1080 *	30	Class 6	約30分
2	1280 x 720 *	60	Class 6	約32分
3	1280 x 720 *	30	Class 4	約58分
4	640 x 480	30	Class 4	約105分
5	640 x 480	120	Class 6	約53分

① \*動画で連続撮影できるのは1回につき29分までです。

② 高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。

③ 動画の画像サイズを640 x 480 (120fps) に設定すると、撮影時間は30秒、再生は2分となります。

④ 640 x 480 (120fps) を選択した場合、音声の記録はできません。

## 色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。



8種類のメニューから選択することができます。

-  普通
-  鮮明
-  白黒
-  セピア色
-  モノクロ-赤
-  モノクロ-青
-  モノクロ-黄
-  モノクロ-緑

## 動画設定メニュー

モード: 

1.  モードで  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。



3.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6.  ボタンを押して、設定を確定します。

## デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。



## 再生メニュー

モード：▶

1. 再生モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3.  ボタンを押して、メニューに入ります。



4. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

ディスプレイモード 



-  静止画撮影モード: すべての画像を表示します
-  日付モード: 日付別に整理します
-  連写モード: 連写グループ別に整理します

 日付フォルダーは撮影の日付の順番で表示します。

 メモリー内に連写画像がない場合は、連写モードは表示しません。

## HDR HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。



✓:HDR ✕:取消

 HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

## 赤目軽減

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。



✓:赤目軽減

✕:取消

 動画画像は赤目軽減ができません。

## 画像回転

選択した画像の方向(縦横位置)を設定します。



- : 右回転
- : 左回転
- : 取消

 パノラマ合成した画像、動画ファイルは向きを回転させることはできません。

 回転して変更した画像のみメモリーカードに保存されます。

## 画像サイズの変更(リサイズ)

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。



- 1024**: 1024x768 にサイズ変更  
1024x680 にサイズ変更  
1024x576 にサイズ変更
- 640**: 640x480 にサイズ変更  
640x428 にサイズ変更  
640x360 にサイズ変更
- : 取消

 サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

 元の画像サイズが、[640x480]より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

 回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

 パノラマ画像は、サイズ変更できません。

## 色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。



19種類のメニューから選択することができます。

-  取消
-  鮮明
-  日本スタイル (8M)
-  イタリアスタイル (8M)
-  フランススタイル (8M)
-  パンク (4M)
-  白黒
-  セピア色
-  モノクロ-赤
-  モノクロ-青
-  モノクロ-黄
-  モノクロ-緑
-  ネガ (8M)
-  ドリーム
-  ぼかし
-  スタジオ
-  魚眼
-  反射
-  4グリッド-スタイリッシュ(2M)

## 再生設定メニュー

モード: ▶

1. [▶] モードで [⊖] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、[≡] を選択し、[SET] ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。



3. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. [SET] ボタンあるいは機能ボタン右を押し、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

## 保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。



5種類のメニューから選択することができます。

- 一枚: 選択した画像を保護します。
- 日付フォルダー: 日付フォルダー内の画像を保護します。
- 連写グループ: 連写グループ内の画像を保護します。
- すべて: すべての画像を保護します。
- リセット: すべての画像の保護を解除します。

## 消去

画像または画像ファイルを消去することができます。



4種類のメニューから選択することができます。

- 一枚: 選択した画像を消去します。
- 日付フォルダー: 日付フォルダー内の画像を消去します。
- 連写グループ: 連写グループ内の画像を消去します。
- すべて: すべての画像を消去します。

 保護アイコン  が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

 画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

 消去されたファイルは回復または復元することができません。

 連写グループと日付フォルダーで、消去を選択した場合、保護されている画像以外はすべて消去されます。

## DPOF(デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOFにより印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。



3種類のメニューから選択することができます。

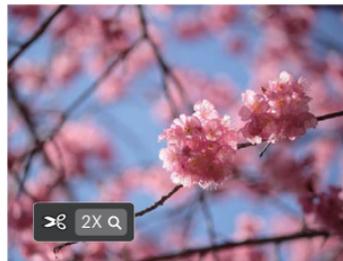
- 一枚: プリント予約(画像、枚数、日付等)をする画像を一枚ずつ選択します。
- すべて: すべての画像をプリント予約します。
- リセット: プリント予約を解除します。

 印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

## 画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

1. [はい] を選択して、**SET** ボタンを押します。
2. ズームボタンと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。



3. **SET** ボタンを押して、[変更を保存しますか?]と表示されます。✔あるいは✕を選択して、**SET** ボタンを押して、設定を確定します。

 画像サイズが[640×480]以下の場合にはトリミングできません。

 トリミング生成した画像は、再度トリミングできません。

 回転して方向変更した画像はトリミングできません。

## カメラ設定メニュー

モード:  P M SCN    

すべてのモードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、 を選択します。



1.  ボタンあるいは機能ボタン右を押して、設定メニューが表示されます。

2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下あるいは左/右を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

 変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

## 操作音

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音の大きさを調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

機能ボタン左/右を押して、操作音量を調整し、**SET** ボタンを押して設定を確定します。

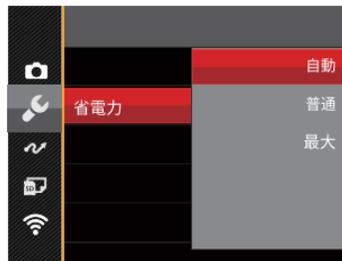
- オフ
- 音量小
- 音量中
- 音量大



 音量を変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

## 省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。



- 自動
- 普通
- 最大

省電力	液晶モニターが消灯するまでの時間	電源がオフになる時間
自動	3分	5分
普通	1分	3分
最大	30秒	1分

## Language/言語

20ページの [言語を変更する場合] を参照してください。

## ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。海外にいる間、日時設定を変更しなくても、現地時間を写真に記録することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 現地 (訪問先) を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。



## 日付/時刻

21ページの [日時を変更する場合] を参照してください。

## LCD輝度

この設定により、液晶画面の明るさを調整することができます。

機能ボタン上/下を押して、LCD輝度を調整し、 ボタンを押して設定を確定します。



## ファイル・ソフトウェア

モード: P M SCN

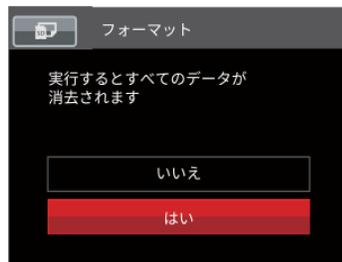
1. タン押し、機能ボタン上/下を押して を選択し、 ボタンを押してメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押して を選択し、 ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択し、 ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。



4. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

## フォーマット

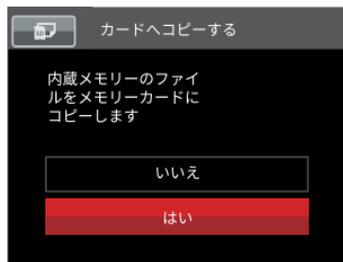
フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。



1. [はい] を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。
2. 新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

## カードへコピーする

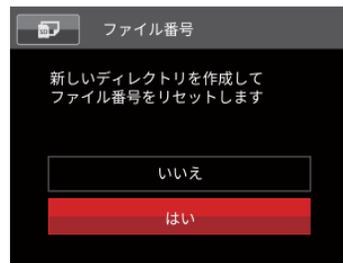
この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。



 カメラにメモリーカードを装着しない場合は、[カードへコピーする] 項目は表示されません。

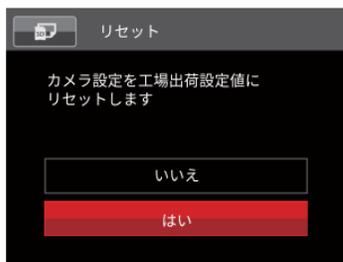
## ファイル番号

この設定により、新しいフォルダを作成して画像番号を1から記録することができます。画像ファイルが9999を超えフォルダが999を超えた場合に[メモリーカードの残量がありません。新しいカードに交換してください。]と警告が表示されます。



## リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

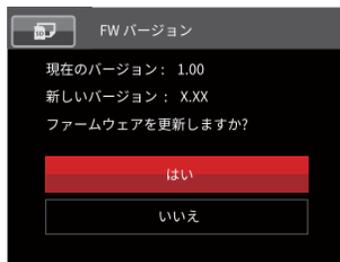


## FWバージョン

現在のカメラのファームウェアバージョンの表示またはFW更新をすることができます。



画面に新ファームウェアバージョンが表示されたときは、[はい]を選択して更新することができます。



 電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

# カメラ接続

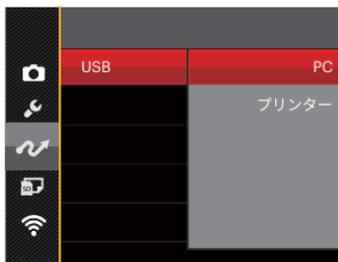
## PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

### USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

1. **Ⓜ** ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、**📄** を選択し、**Ⓢ** ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、**📄** を選択し、**Ⓢ** ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
4. **Ⓢ** ボタンを押して、設定を確認します。

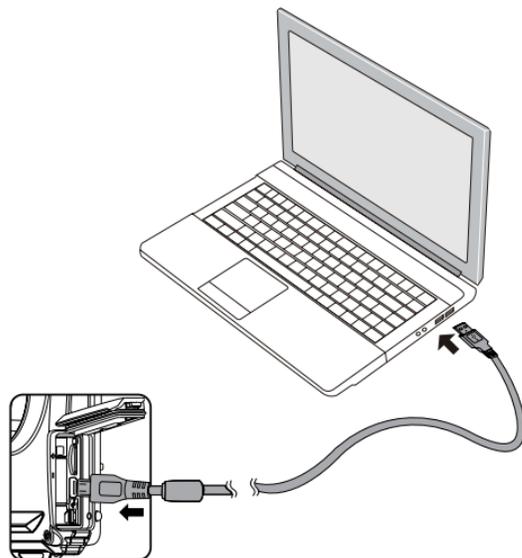


## PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、カメラ内のフォルダやファイルをPCにコピーすることができます。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



## PictBridge互換プリンターに接続する

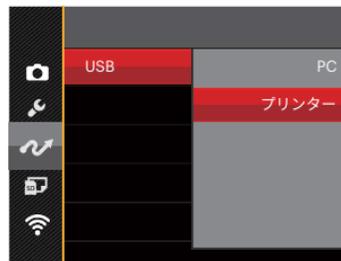
PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

### USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

1. **Ⓜ** ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、**☰** を選択し、**Ⓢ** ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、**🔌** を選択し、**Ⓢ** ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。

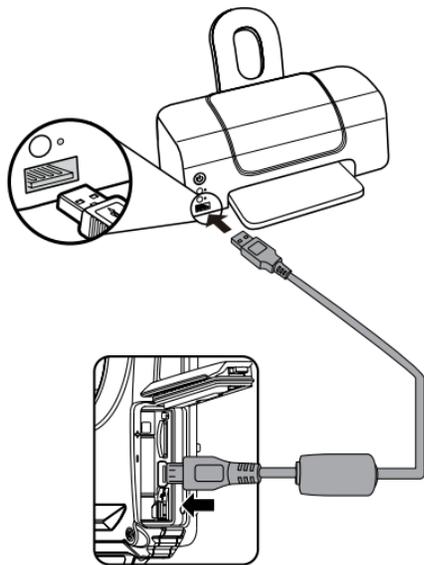
4. **Ⓢ** ボタンを押して、設定を確定します。



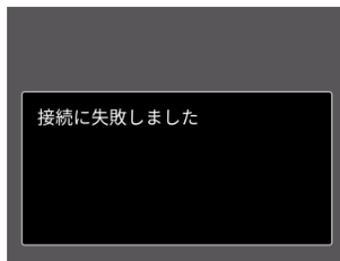
1. カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。
2. PictBridgeメニューの設定は、88ページを参照してください。

## カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。



-  USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

## PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り消す



機能ボタン上/下を押して、PictBridgeメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

### 日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから [日付印刷] を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

- 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
- Ⓢ ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



- [はい] を選択すると印刷が開始します。  
[取消] を選択すると、印刷をキャンセルします。  
Ⓢ ボタンを押して、設定を確定します。

## 日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

- メニューから [日付なし印刷] を選択すると次の画面が表示されます。



- 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
- 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
- Ⓢ ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



5. [はい] を選択すると印刷が開始します。  
[取消] を選択すると、印刷をキャンセルします。  
Ⓢ ボタンを押して、設定を確定します。

## サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから [サムネイル画像を印刷する] を選択します。次の画面が表示されます。



2. [はい] を選択すると印刷が開始します。  
[取消] を選択すると、印刷をキャンセルします。Ⓢ ボタンを押して、設定を確定します。

## DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（77ページのDPOFを参照してください）。

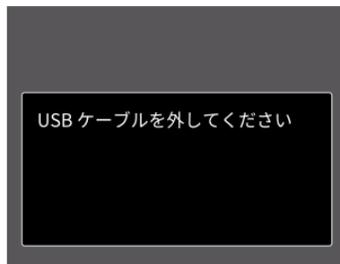
1. メニューから[DPOF画像を印刷します]を選択します。次の画面が表示されます。



2. [はい]を選択すると印刷が開始します。  
[取消]を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

## USBケーブルを取り消す

メニューを終了するには、[USBケーブルを取り消す]を選択します。[USB ケーブルを外してください]メッセージが表示されます。



画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

## 仕様



外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

撮像素子	形式	1/2.3型 BSI CMOS
	カメラ部有効画素数	1635万画素
	総画素数	1676万画素
レンズ	焦点距離	4.9～19.6mm
	35mmフィルム換算	27～108mm
	開放F値	F3.0～F6.6
	レンズ構成	7群7枚
	光学ズーム	4倍
	撮影範囲	通常撮影 (W) 60cm～∞、(T) 100cm～∞ マクロ撮影 5cm～∞(Wのみ)
オートフォーカスシステム	TTLオートフォーカス	
手ブレ補正	デジタル式手ブレ軽減	
デジタルズーム	6倍（光学4倍と併用して最大24倍）	

記録画素数 (画像サイズ)	静止画	(4:3) 16MP: 4608 × 3456 10MP: 3648 × 2736 5MP: 2592 × 1944 3MP: 2048 × 1536 2MP: 1600 × 1200 1MP: 1280 × 960 0.3MP: 640 × 480	(3:2) 14MP: 4608 × 3072	(16:9) 12MP: 4608 × 2592 2MP: 1920 × 1080
	動画	1920×1080(30fps)、1280×720(60fps/30fps)、640×480(30fps)、 高速モード: 640×480(120fps)		
画質		精細、標準、普通		
DCF、DPOF (Ver1.1) サポート		○		
ファイル形式	静止画	Exif 2.3 (JPEG)		
	動画	画像圧縮: MOV (H.264)、音声: リニアPCM [Monaural]		
撮影モード		自動モード、プログラムAE、手動モード、動画モード、シーンモード、 水中モード、Wi-Fiモード、CALSMモード		
シーンモード		ポートレート、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、 パノラマモード、ガラス越し、手ブレ補正、流し撮り、夜景ポートレート、 パーティー、室内、植物、博物館		
検出機能		顔、笑顔、まばたき		

防水機能	水深15mまで
耐落下機能	高さ2mまで
防塵機能	JIS/IEC保護等級6級 (IP6X)
赤目軽減	○
HDR	○(後処理)
パノラマ	最大360°
液晶モニター	2.7インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度	自動, ISO100/200/400/800/1600/3200
AF方式	シングルAF、マルチAF (TTL 25ポイント)、顔検出
測光方式	AiAE、スポット、中央部重点、顔AE
露出制御方式	プログラムAE (AEロック可能)
露出補正	± 3 EV (1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4~1/2000秒 (手動30秒)
連写	最大解像度で最大6fps
再生モード	静止画、サムネイル (9/16)、スライドショー、撮影日付、連写グループ、ズーム (約2倍~8倍)、動画
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、手動、色温度 (1900K~10000K)、水中

フラッシュ	フラッシュ方式	内蔵
	フラッシュモード	発光禁止、自動発光、強制発光、スローシンクロ、スローシンクロ+赤目軽減、赤目軽減
記録メディア		内蔵メモリー: 8MB
		microSDカード microSDHCカード(32GBまでサポート)
多言語のサポート		26言語
入出力端子		USB 2.0 (Micro 5 pin USB)
Wi-Fi		○ (802.11 b/g/n)
リモートビューファインダー		○(スマートデバイスに表示されます)
電源		充電式 Li-ion電池 LB-015, 3.7V 700mAh (本体装着で充電可)
撮影枚数 (電池寿命)		約 200 ショット (CIPA標準に基づく) 約70分録画 (@1080p/30fps)
動作環境		温度: 0~40°C 湿度: 90%以下 (結露しないこと)
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)		約 103.2 × 66.7 × 52.4mm
質量		約 176g (本体のみ)

## エラーメッセージ

メッセージ	説明	リセット方法
警告! バッテリー残量がなくなりました	カメラのバッテリーがなくなりました。カメラがシャットダウンすることを示す警告です。	バッテリーを充電してください。
レンズエラー、カメラを再起動してください	レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。	カメラの電源をオフし、再起動してください。
三脚の使用をお勧めします	シーンモードの中で長いシャッタースピードまで使用するモード(花火モード、夕日モード、夜景モードなど)を選択すると表示されます。	撮影する前に三脚等でカメラを固定してください。
内蔵メモリーエラー	内蔵メモリーにエラーが発生しました。	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
画面が一致しません もう一度やり直してください	構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きいです。	撮影中は水平に移動します。
警告! 更新中はカメラの電源を切らないでください	ファームウェアを更新するときに表示されません。	ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。
接続に失敗しました	PC、プリンター、テレビ(ビデオ)への接続が失敗しました。	USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。

メッセージ	説明	リセット方法
充電した後再更新します	電池残量が不足して、ファームウェアの更新ができない警告です。	充電後に更新を行ってください。更新画面に戻ります。
メモリーカードの残量がありません	メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
内蔵メモリーの残量がありません	内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
カードエラーです	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。</li> <li>・microSDXCメモリーカードが装着されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。</li> <li>・micro SDカード/micro SDHCカードをご使用ください。</li> </ul>
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが装着されているか、PCなどでフォーマットされたメモリーカードが装着されています。	メモリーカードをフォーマットしてください。
SDカードに書き込むことができません	撮影した画像をメモリーカードに保存できません。	メモリーカードを交換してください。
SDHCメモリーカード(クラス4以上)をおすすめします	HD動画の録画に、Class4以前のメモリーカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。	メモリーカードはClass4以上のものを使用してください。

メッセージ	説明	リセット方法
赤目現象はありません	赤目の現象は、画像から検出されません。	表示は2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。
この画像は編集できません	このファイルフォーマットでは編集できません。一度編集した画像は再度編集できません。	ほかの写真を選択してください。
フォルダー番号が最大値になっています	メモリーカードのフォルダー番号が最大値(999)に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。	画像ファイルをパソコンにコピーし、保存してください。カメラで、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像が多すぎて処理できません	日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました。	不要な画像を削除することで、表示できる場合があります。
ファイルを認識できません	画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。	他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。	表示は2秒後に消え、撮影画面に戻ります。
保護されています! 消去できません!	画像は保護されています。消去する前に、保護を解除してください。	消去する前に、保護を解除してください(75ページを参照してください)。 表示は2秒後に消え、撮影画面に戻ります。

## 困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池切れです。</li> <li>■ 電池が正しく装着されていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。</li> <li>■ 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装着します。</li> </ul>
操作中にカメラが突然オフになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池切れです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。</li> <li>■ カメラの省電力モードをご確認ください。省電力モードでは、カメラが一定時間待機状態が続いた場合、電池の消耗を防止するためにLCDがオフになります。</li> </ul>
写真がぼやける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンズが汚れています。</li> <li>■ 手ブレ、被写体ブレになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。</li> <li>■ しっかりと脇を締めてカメラを構えてください。</li> </ul>
静止画、動画ファイルを保存することができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードの残量がありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードを新しいものと交換してください。</li> <li>■ 不要な画像を消去してください。</li> </ul>
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードの残量がありません。</li> <li>■ ファイルを保存する空き容量がありません。</li> <li>■ 再生モードになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードを新しいものと交換してください。</li> <li>■ 不要な画像を消去してください。</li> <li>■ モードボタンを押して、 に合わせます。</li> </ul>

問題	考えられる原因	解決法
接続したプリンターから画像を印刷できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。</li> <li>■ プリンターがPictBridge互換ではありません。</li> <li>■ プリンターが用紙またはインク切れです。</li> <li>■ 用紙詰まりです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラとプリンターの接続を確認してください。</li> <li>■ PictBridge互換プリンターを使用してください。</li> <li>■ プリンターに用紙を補給してください。</li> <li>■ プリンターのインクカートリッジを交換してください。</li> <li>■ 詰まっている用紙を取り除いてください。</li> </ul>
メモリーカードの書き込み速度が遅い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス4以上のメモリーカードを使用してください。</li> </ul>
メモリーカードに書き込むことができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハイスピードのメモリーカード（Class 6以上）に切り替えてください。</li> </ul>
液晶モニターにフラッシュ  が点滅します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 撮影環境でフラッシュの使用が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フラッシュを使用してください。</li> </ul>

Wi-Fi パスワードを変更した場合には、新しいパスワードを入力してください。ご使用のデバイスによってはパスワードを記憶している場合もありますので、WiFi 接続設定を一旦クリアしてから再度新しいパスワードを入力してください。WiFi 接続設定の変更方法はお使いのスマートデバイス取扱説明書を参照してください。

### iOS システム



### Android システム



## メモ리카ードの互換性

•このカメラで使用できるカード(✓: 使用可 X: 使用不可)

	micro SD	micro SDHC	micro SDXC	SDカードへの変換アダプター	SD	SDHC	SDXC
フォーマット	FAT12, 16	FAT32	exFAT	-	FAT12, 16	FAT32	exFAT
容量	2GBまで	4~32GB	64GB~2TB	-	2GBまで	4~32GB	64GB~2TB
互換性	✓	✓	X	X	X	X	X

メモ리카ードには書き込み速度を表すスピードクラスが表示されています。

撮影されるビデオ録画モードに適切な書き込み速度のメモリーカードをご使用ください。(O : 推奨 X : 非推奨)

	スピードクラス	UHS スピードクラス	ビデオスピードクラス	ビデオ録画			
				4K	FHD	HD	VGA
90MB/sec			V90	O	O	O	O
60MB/sec		UHS-III	V60	O	O	O	O
30MB/sec		UHS-I	V30	O	O	O	O
10MB/sec	Class 10		V10	O	O	O	O
6MB/sec	Class 6		V6	X	O	O	O
4MB/sec	Class 4			X	X	X	O
2MB/sec	Class 2			X	X	X	O

© 2022 JK Imaging Ltd. All Rights Reserved.

コダックの商標、ロゴおよびトレードドレスは、イーストマン・コダック社からのライセンスに基づき使用されます。

All other logos, products or company names that are referred to in this document are trade names, trademarks or registered trademarks of their holders. The holders are not affiliated with JK Imaging Ltd., our products or our website.

JK Imaging Ltd., 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

[kodakpixpro.com](http://kodakpixpro.com)

Made in Myanmar (Burma)

